

平成23年度水産研究所試験研究課題一覧

試験研究の基本的推進方向		研究課題名	内容	研究期間	担当
センター基本推進方向	水産部門推進方向				
農林水産物のブランド力強化	水産物のブランド力強化	「鳴門わかめ」ブランド維持拡大に向けた養殖技術の開発	高水温環境に適応した品種開発及び養殖技術の再検討により、漁場の有効利用を図り、地球温暖化時代に対応したワカメ養殖技術を開発する。	H22～24	環境増養殖
		滅菌シャーベット氷を用いたシラス等小型魚の価値向上	海水を原料とするシャーベット氷は、水産物流通現場で広く使用される淡水プレート氷に比べて鮮度保持能力が優れていると言われる。本事業は、県産魚介類の出荷時等にシャーベット氷の特性を活かした鮮度管理を行うことにより、ブランド製品を作出するものである。	H22～24	海洋生産技術
		成長が良く病気に強い養殖用アユ種苗の開発	本県のアユ養殖業では、近年、生産量の低下が著しい。県産アユの地位向上を図るためには、成長が良く病気に強いアユ種苗を用い、他産地より高品質なアユを出荷することが求められている。本研究では「成長が良く病気に強いアユ種苗」の生産技術を開発し、優良な種苗を県内養殖業者に供給することにより、アユ養殖業の振興を図る。	H21～23	海洋生産技術
		栄養価の高い菌床シイタケ栽培技術の開発	養殖ワカメの未利用部分の有効利用と栄養成分を多く含む菌床シイタケ栽培技術の確立を図るため、①ワカメの未利用部を利用した栄養剤の開発、②シイタケの収量や形質の向上に最適な栄養剤添加量の解明、③ワカメの栄養成分(ヨード等)のシイタケへの移行量の測定を行う。	H23～25	環境増養殖
次世代の農林水産業の展開	次世代の水産業の展開	資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な操業支援、調査体制の一層の整備を目的に、沿岸域における漁海況情報を収集・分析するとともに地域レベルでの漁海況情報を提供する。	H9～23	海洋生産技術
		資源評価調査	ABC(生物学的許容漁獲量)の決定と対象魚類の資源状態の把握を目的として、県内主要漁協における漁獲量やそのサイズを調査する。	H10～	海洋生産技術
		河口堰下流域におけるヤマトシジミの資源増大及び管理技術の開発	吉野川下流域におけるヤマトシジミの生態と増殖条件を明らかにし、本種資源の増殖手法と資源管理技術を開発する。	H21～23	環境増養殖
		底生生物群集の資源生態把握調査	小型底びき網等の標本船調査及び主要漁協の漁獲統計調査を実施し、過去の情報とともにデータベース化することにより、紀伊水道域の漁業資源の動態をモニタリングする。	H13～	海洋生産技術
		包括的資源回復計画(紀伊水道小型底びき網漁業)作成推進調査	平成19年度に策定した徳島県小型底びき網漁業包括的資源回復計画に関して、漁獲量等のモニタリングとデータ解析を行う。	H17～23	海洋生産技術
		紀伊水道機船船びき網漁業の資源管理に関する情報提供事業	カタクチイワシシラスの漁況予測に関するデータの収集、解析、及び計量魚探による音響調査を実施する。	H17～	海洋生産技術
		沿岸シラス最適漁場を探す支援技術の開発	漁業調査船「とくしま」の調査データ等を利用してシラス漁場の情報を高頻度で漁業者へ発信可能な技術を開発し、シラス漁業の効率化と漁場を探す経費と時間の削減を目指す。	H23～25	海洋生産技術

試験研究の基本的推進方向		研究課題名	内 容	研究期間	担当
センター基本推進方向	水産部門推進方向				
安心安全な農林水産物の供給	安心安全な水産物生産技術	成長が良く病気に強い養殖用アユ種苗の開発	本県のアユ養殖業は、近年、生産量が大幅に低下している。県産アユの地位向上を図るためには、養殖業者に成長が良く病気に強いアユ種苗を生産・供給し、他産地より高品質なアユの生産が求められている。本研究では「成長が良く病気に強いアユ種苗」の生産技術開発を行い、優良な種苗を県内養殖業者に供給することにより、アユ養殖業の振興を図る。	H21～23	海洋生産技術
		有害・有毒プランクトンの被害防止対策（赤潮発生監視調査、赤潮発生予察調査、貝毒発生監視調査）	有害・有毒プランクトンの発生状況調査を行い、その結果を基に関係機関と連携した有害・有毒プランクトンによる被害防止を図る。	S54～	環境増養殖
		養殖漁場環境調査	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖
自然環境の保全と地球温暖化対策	漁場環境の保全と地球温暖化対策	磯焼け対策緊急整備事業	播磨灘南部及び阿南地区に造成された藻場を対象に、食害対策や浮泥対策、種苗供給等の必要な措置を施し、その後の状態をモニタリングする。	H19～27	環境増養殖
		カワバタモロコ種苗生産試験	絶滅危惧種であるカワバタモロコの保護及び増殖を目的として、本種の種苗生産を実施する。	H19～24	環境増養殖
		貝類及び藻類増殖付加機能ブロック効果検証調査	近年、徳島県沿岸では冬季の水温の上昇と栄養塩の減少に伴い、ノリとワカメの色落ちの発生頻度が高まっている。本研究では栄養塩減少の要因及びワカメの色落ちのメカニズムを明らかにするとともに、色落ち対策技術を開発する。	H22～26	海洋生産技術及び環境増養殖